与謝地区公民館

区民の学びと交流の場として

園児や児童の作品名を見て「あそこの子どもさんか」と話したり、展示の生花の横でそばを食べたりなど、久しぶりの出会いを楽しむ姿がありました。

12月には、音楽鑑賞「マリンバ演奏会」を開催。日中に実施したので、園児も含め約30人の参加者がありました。終了後、子どもたちはマリンバ体験をさせてもらい、初めての楽器の音色を楽しんでいました。

今後も区民が、「集う」「学ぶ」「つながる」ことができる公民館活動を進めていきたいと考えています。

4年ぶりに開催した文化祭

与謝地区公民館では、前年度から「花いっぱい運動」を行っています。前年度は、花の種類をチューリップと決めて希望者を募りましたが、今年度は4種類の花の苗から1種類を選んでいただき、プランターに選ばれた苗3株を植え付けて配布。気に入った花を選ぶことができた関係で、前年度を上回る70件の配布希望があり、各戸の軒先にはたくさんの花が咲き与謝区内を彩りました。

また、これまで別々に開催していた夏祭りと文化祭を合わせて、「与謝区文化祭・区民の集い」として開催。より多くの方々に参加いただけるよう、マイクロバスによる送迎体制を整え、高齢者の方々や子どもたちにも安心して参加いただくことができたと思っています。

公民館内では、生け花サークルによる生け花、こども園児・小中学生・区民の方々の力作や、区に移住された方の絵画などを展示。来場者は、すばらしい作品に見入っておられたようです。中学生以下を対象とした「キッズコーナー」では、ヨーヨー釣りや輪投げを楽しみ、今年度区で整備した大型プロジェクターを活用したアニメの上映も行いました。

保育園の閉園と小学校の閉校により、子どもたちを見かける機会が少なくなった昨今ですが、当日は子どもたちの楽しそうな姿に、区民の方々の温かい見守りを感じました。久し振りに飲食を伴った会場では、会話も弾み全員参加のゲームも盛り上がり、来場者からは「楽しかった。思い切って来てみてよかった」「久々に会えた方とゆっくり話ができた」「来年も元気で会おうね」などと、コロナ禍で滞っていた人との交流の場をよろこぶ声が聞かれました。

今まさに少子高齢化が進む当区ですが、今後も区民の学びと交流の場として、公民館活動に励みたいと考えています。

与謝区文化祭・区民の集い

四辻地区公民館

コロナ禍を脱してまずはこれまでの活動に！

活動の制約を解かれた今年度は、過去実施してきた事業の復活を行ってきました。代表的なものとしては、「ヨガ教室」「スケボー体験講座」「社会見学講座」「地区文化祭」「キャンドルナイト」などが挙げられます。

ヨガ教室（10回講座）は、人気の高い講座で、多数応募をいただき定員を超えて開催しました。「誰でも参加しやすい」「日ごろのストレスなどを和らげる」ものとしての開催です。二人の高齢男性が皆勤賞という結果に、ほほえみがこぼれます。

10月には、今年で4回目となるスケートボードの体験講習を開催。さすがの講師陣！　すばらしい手解きでの指導に、恐怖心よりも楽しさ満開！　始めてから数分で乗れるようになり、終盤ではアイテムに立向かう姿に驚きでした。「近隣にスケボーができる環境もなく練習できない」という区民の声から始まった教室です。子どもたちの歓声と輝く笑顔は、未来への宝物です。同月には、「社会見学講座in宇治」を実施し、10円玉の平等院鳳凰堂についてのさまざまな知識を学びながらの見学や、宇治茶をいただきながらの楽しいひと時を過ごしました。

スケートボード体験講習

11月には、地区文化祭を開催。こども園・小学校・区民の作品展示や、子ども向けアトラクション、名物披露などでにぎわいました。

12月には、「でんきを消してスローな夜を」を合言葉とするキャンドルナイトを開催。ストリートピアノにヨガ、ウクレレ演奏やダンスパフォーマンスの披露など、盛りだくさんの内容を交えてキャンドルの明かりの下での楽しい時間でした。

感染症の制約から解放された今年度、これまでの活動を取り戻すべく進めてまいります。

中央公民館

子どもたちと高齢者の集う公民館講座をめざして

新型コロナウイルス感染症の影響で3年間中止していた、生涯学習支援事業「野田川高齢者教室」と、土曜日の教育支援推進事業「エコキッズ与謝野」の3回シリーズを実施することができました。

野田川高齢者教室は、3つの講座を開講。一つ目は「最近の詐欺被害等の手口と対策」と題して、宮津警察生活安全課の方にお話をしていただきました。京都府や近隣市町の被害状況を聞き、参加者の皆さんは、他人事ではないという思いで耳を傾けておられました。二つ目は「自分の体力を知ろう」と題して、役場福祉課の職員さんに指導していただき、握力・タイムアップ&ゴー・立ち上がりテストの3種目を測定。測定結果を記録用紙に記入しながら、自分の記録と指標とを照らし合わせて満足されている方が多くおられました。三つ目は、以前お世話になった森山道子（もりやまみちこ）さんをお招きし、大型紙芝居「自然の神秘！　天橋立」を上演していただきました。ほとんどの方が初めてということで、胸をわくわくさせながら熱心に聞き入っておられました。

エコキッズ与謝野は、「与謝野の豊かな自然から環境について考えてみよう」というテーマで活動しています。役場農林環境課・よさの百年の暮らし委員会（愛称「みらいふ」）・民生児童委員の方々の協力を得て取り組みました。第一回の「森の健康診断」では、滝の千年ツバキ公園周辺で自然観察や間伐を体験し、森を整備していく大切さを学びました。第二回の「河川の生き物観察」では、野田川河口で魚釣りをしました。講師の方から釣り上げた魚の種類や河口付近の水辺の生物について学びました。第三回は「自然の再利用」として、みらいふの皆さんの指導を受け、フウセンカズラや藤ヅルを使ってのリース作り、森の健康診断に行ったときの間伐材を使って壁掛けなどを制作。最後に、今年度の活動のまとめをして終了しました。

第2回エコキッズ魚釣りの様子